



Microsoft の組織のライセンスですぐに使える、Copilot について紹介します。
Edge を始めとするブラウザや Windows から、今すぐに Copilot を呼び出して、日々の業務を変えていくことができます。

生成 AI はなにが得意?

生成 AI でできることは非常に幅広いですが、特に以下のようなことが得意です。

これらはすべて Edge を始めとするブラウザの Copilot や、Windows の Copilot で利用が可能です。

組織のデータは外部に学習されないように保護されているので安心です。日々の業務で使える部分を見つけて使い始めてみましょう。

アプリ特化コマンド系

コマンド

グラフの営業数値列を 濃淡で見やすくして

情報抽出系

要約

小学生にわかるように 300 文字で要約して

感情分析

喜び / 怒り / 悲しみの感情を 0~5 で表現して

エンティティ分析

場所 / 人物名 / 組織名を 抽出して

キーフレーズ抽出

次の文章の重要な フレーズを抽出して

インサイト抽出

次のレビューから商品の 改善点を考えて

翻訳系

翻訳 次の文章をフォーマルな

次の文章をフォーマルな 日本語に翻訳して

分類系

テキスト分類

次のニュース記事の カテゴリを教えて

チェック系

校正

誤字 / 脱字 / タイプミスを 見つけて

添削 / 評価

○○の基準で 10 点満点で評価して

文章生成系

思考の壁打ち

○○という考えで 抜けている点を指摘して

問題作成

次の文章から 4 択問題を作成して

コード作成

OpenAI の API を 実行するコードを書いて

文章作成・記述アシスタント

このメールの日程調整をする メールを書いて

アイデア創出

人気の出るブログの 内容案を提案して

情報検索

WEB アプリの 要件定義について教えて



動画の要約ができる

学校の業務に関する最新の情報を追いかけたり、教材に使用できそうな素材を探したりするために、動画を視聴することもあると思います。時間がない中で多くの動画を始めから最後まで見続けると膨大な時間がかかりますが、Copilot に要約を頼むとチャプター別にわかりやすく要約してくれます。



いますぐ使えるCopilot. 2



下書き作成が簡単に

生成 AI は下書きを作成するのも得意です。急に発信する必要が出てきた、生徒・保護者に向けたお知らせ文書の作成や、 授業で使う指導案の作成など、日常でよく使う文章の下書きを簡単に行うことができます。







アニメ風や写真風の画像が生成できる

授業のスライドで使う素材として、または保護者や生徒に配布する学校だよりの挿絵として画像が必要になってくる場面は多いのではないでしょうか。 画像の特徴を Copilot に指示を出すことで、著作権フリーの画像を文章から簡単に生成することができます。



いますぐ使えるCopilot. 4



学習成果物の評価が可能に

生成 AI は生徒が授業で作成した成果物の評価にも役立ちます。生徒の作成した文章を Excel に集約。その結果と評価基準を Copilot に読み込ませることで、評価基準に応じた生徒一人ひとりの学習成果物に対する評価を Copilot に下書きしてもらうことができます。

集約した成果物を Copilot に貼り付けて、評価を依頼 → 表形式に整えて出力



事例〈

Copilot (組織向け)を用いて、対話的な学びを実現

大阪市教育委員会様では、児童生徒の作成した短歌について、Copilot からフィードバックをもらって改善する、学習実践がおこなわれました。



AIって安全なの?

マイクロソフトの AI サービスには、お客様のデータはお客様のものという、責任ある AI の原則という一貫したスタンスがあります。 Microsoft 365 A3/A5 ライセンスでご利用いただける組織向けの Copilot では、組織の中の機密性の高い情報も機械学習に 利用されることなく、安心・安全に利用することができます。

法人向け AI チャットの特徴



お客様のチャットデータは 保存されません



お客様のデータをマイクロソフトが 見ることはできません



お客様のデータは 機械学習に利用されません

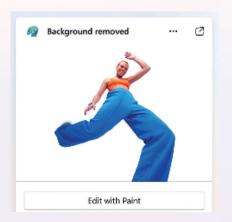


Windows 上で使える Copilot

Copilot は、Windows OS にも備わっているので、どんな状況でも簡単に呼び出すことができます。Windows 上のファイルの検索や、 Windows の設定の変更などはもちろん、Windows 上のアプリとの連動もできます。

Windows の様々なアプリにも AI

ペイントアプリと 連動して、画像の背景削除もできます。 ※将来提供予定の機能



ペンと Copilot との連動

Windows Ink Anywhere 機能: Surface ペンで直感的に入力できます。 ※将来提供予定の機能



Copilot +-

Copilot キーを搭載の Surface を使うと 簡単に Copilot を呼び出すことができます。



編集・執筆担当者: マイクロソフト文教 AIチーム



栗原 太郎



青木 智寛



西村 まりな



廣瀬 望



中田 寿穂



服部 友貴



阪口 福太郎





山越 梨沙子 急 日民

本リーフレットついてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時 (2024 年 5 月) のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。 本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ https://www.microsoft.com/ja-jp/
■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。 *記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

*製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。





Microsoft の AI ソリューションはあらゆる角度から学校を変えていきます。 ある教員のI日の学校業務のなかでどのように AI が関わることができるのか、覗いてみましょう。

Microsoft の AI の考え方とは?

マイクロソフトの AI は様々なサービスを一貫して作られています。クラウド基盤から、 ソフトウェア、デバイス上の OS に至るまで、全ての領域で AI を活用できます。それが できる、世界でただ一つの企業です。あらゆるレイヤーから AI の助けを借りることで、 今までとは全く新しい体験をすることができ、教育現場も変わっていきます。





マイクロソフトの AI の大元を支えているのは、 生成 AI の先駆者 OpenAI 社の大規模言語 モデルです。もちろん、それをクラウド上でセキュ アに使うことも (Azure OpenAI)、様々なマイ クロソフトのサービス上のデータを利用して簡単 に扱うこともできます。インターネット上の情報 を元に生成 AI の力を借りたいときは Copilot (旧 Bing Chat)、Word, Powerpoint など Office の情報を元にしたいときは、Copilot for Microsoft 365 が活躍します。実現した いことに沿ったさまざまな生成 AI サービスを 選択することができます。





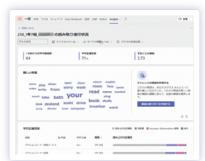
/ マイクロソフトの AI で変わる先生の I 日

マイクロソフトの AI で先生の一日が変わっていきます。朝出勤開始してから、夕方退勤するまで学校生活の一日のすべてにおいて、生成 AI とともに校務・教務に携わることができます。学校生活 のあらゆる場面で生成 AI が登場することによって、業務の時間が短縮され子どもたちに向き合う時間が増えるだけでなく、AI そのものが教育活動に入り込むことで子どもたちの学びのあり方 も変わっていきます。日々の学校での活動が今までとは大きく違ったものに変わっていきます。

舞黒市立戸羽中学校 色都先生(担当教科は理科)



朝の時間は、昨日子どもたちに出した 課題の確認に充てます。誰がどの課題 にどんな回答をしたのか、Teams 上で サッと確認。子どもたちが AI に伴走し てもらって自分のペースで学びを進め た様子も把握。今日の授業での声かけ につなげます。



活用するサービス



Learning Accelerators/Teams for Education



詳しくは、「学びによりそう AI」リーフレットをチェック! [2]





AM 7:30~ クラスの状況確認

子どもたちは体や心の揺らぎが多い年 ごろです。欠席連絡の確認やデジタル 健康観察の報告結果を確認をします。 欠席が続いている子どもや気持ちが不 安定な子どもがいる場合は「Reflect」 を開いて、最近の感情の変容も合わせ て確認し、今日「Reflect」の質問を セットします。



活用するサービス



Copilot in Forms

校外学習の準備をします。先ず参加の

申し込みフォームを作ります。「校外学習

申し込みフォーム」と Copilot in Forms

に入力するだけで、質問や回答選択肢

を作ります。先生は生成された申し込み

フォームに追加・修正し、続けて Copilot

in Word で「校外学習しおり」と入力し、

子ども向けの「しおり」を作ります。

PM 1:30~



保護者向けのお知らせ作成



AM 8:30~

授業の準備

Copilot でインターネット上の動画教材 の要約を確認します。動画の内容をタ イムラインで確認ができるので、すべて を視聴しなくても課題に必要な部分の 抽出がすぐにできます。課題の評価に 使うルーブリックも条件を入力するだけ でルーブリック案を Teams 内で作成 でき短時間で課題の準備ができます。



活用するサービス



Copilot



Teams for Education



詳しくは、「いますぐ使える Copilot」リーフレットをチェック! ②

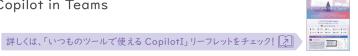
PM 4:30~ 教科会を後から確認

保護者の対応をしていて、職員会議に 遅刻してしまいました。遅れて参加して も、Teams 会議の Copilot から聞き逃 した会議の要約を確認できます。また、 会議終了後は主な議題の要点や概要、 割り当てられたタスクや決定事項なども まとめてくれ、議事録を作成しなくても、 即時に会議の内容の共有ができます。





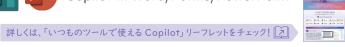
Copilot in Teams



活用するサービス



Copilot in Word/Forms/PowerPoint



活用するサービス



Azure OpenAI Service



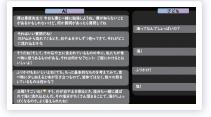
詳しくは、「オーダーメイドのよりそう AI」リーフレットをチェック! [2]

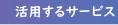


AM 10:30~

授業 / 答えのない質問・放課後の質問

今日は、理科の実験で「水溶液の性 質」の実験を行います。子どもたちは実 験の「成果」や、うまくいかなかったこ と、疑問などを入力します。先生はあら かじめ AI に「150 字以内」で「分か りやすく」「肯定的な」文章になる等条 件をつけて指示をしておきます。授業後 はAIが間違った回答をしていないか、 チェックも忘れずにします。









AI の選び方とは?

教育活動に AI を取り入れるために、抑えておきたいポイントが大きく3つあります。データの保護、答え方、参照するデータです。

選定時のポイント



データが保護 されているのか

「旅行計画の作成」のような個人的利用では生成 AI が便利ですが、学校データの取り扱いでは機密 性が問題になります。法人向けデータ保護機能を 備えた AI の選定が必要です。

カスタマイズに関わる部分



AI の答え方を どうするか

AI の回答方法は柔軟に調整ができます。例え ば、すぐに答えを出すAI、回答を共に考える AI、質問して深掘りする AI などを作ることで、 AI は多様な役割を果たすことができます。



どのデータを 参照するのか

各生成 AI が依拠するデータを考える必要があ ります。インターネットの情報だけでなく、特定 の事典等を参照先に指定することができ、。利用 者の質問や回答を蓄積して回答もできます。

AIって安全なの?

マイクロソフトの AI サービスには、お客様のデータはお客様のものという、責任ある AI の原則という一貫したスタンスがあります。

Microsoft のスタンス責任ある AI の原則



お客様のデータは お客様のものです



お客様のデータは AI の学習に利用されません



お客様のデータは統合的な セキュリティとコンプライアンス 環境で保護されます

法人向け AI チャットの特徴



お客様のチャットデータは 保存されません



お客様のデータをマイクロソフトが 見ることはできません



お客様のデータは 機械学習に利用されません

ライセンス

サービス名称	概要	必要ライセンス
Copilot for Microsoft 365	Office などの Microsoft 365 アプリに付帯する Copilot	Microsoft 365 A1/A3/A5 + Copilot for Microsoft 365
Copilot(組織向け)	Edge などのブラウザから呼び出して Web 上の情報を操作できる Copilot	Microsoft 365 A3/A5
Copilot (職場向け)	Microsoft の組織のストレージに貯まった情報をやりとりできる Copilot	Microsoft 365 A1/A3/A5 + Copilot for Microsoft 365
Azure Open AI	さまざまな業務シナリオに合わせて AI を提供	Azure サブスクリプション
Learning Accerelators	Teams 上で AI にアシストされた主体的で個別最適な学びを提供	Microsoft 365 A1/A3/A5

編集・執筆担当者: マイクロソフト文教 AIチーム



栗原 太郎



青木 智寶



西村 まりな



廣瀬 望



中田 寿穂



服部 友貴



阪口 福太郎



山越 梨沙子



急 日民

本リーフレットついてのお問い合わせ

- 本リーフレットに記載された情報は制作当時(2024年5月)のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。 本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。
- 製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。
- ■インターネット ホームページ https://www.microsoft.com/ja-jp/
 ■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。 *記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。
- *製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。





Office ツールを使った作業も Microsoft の生成 AI「Copilot」がサポートします。

おしらせや学校だよりなどの文書の作成などはもちろん、教材づくりの支援や、評価のサポートまで、生成 AI が助けてくれます。 さらには、学校・教育委員会の中の情報を素早くキャッチ。あの情報どこだっけ・・・という検索にかけていた時間とはもうお別れです。

いつものアプリのそばに Copilot

Microsoft 365 のあらゆる機能で Copilot がアシストしてくれます。



Copilot for Microsoft 365



読む、書くを Copilot が支援



メールの管理を Copilot が支援



分析を Copilot が支援



プレゼンテーション 作成を Copilot が支援



生産性の高い会議を Copilot が支援



ナレッジマネージメント を Copilot が支援



アイデア整理を Copilot が支援



小テスト作成を Copilot が支援



協働学習を Copilot が支援



リアルタイム編集を Copilot が支援

たとえば、職員会議に出られなかった… でも AI に聞いて安心!



Copilot in Teams

放課後、緊急で保護者の対応をしていて、職員会議に 出ることができませんでした。そんなときもTeams 会議 の Copilot から、主席できなかった会議の要約を確認 できます。主な議題の要点や概要、割り当てられたタスク や決定事項などもまとめてくれるので、誰かが議事録を 作成しなくても、簡単に会議の内容の共有ができます。



あらゆるアプリから組織を紡ぐ Copilot

Copilot は普段使い慣れた、Office ツールのあらゆる場所に現れて、日々の業務を助けてくれます。Copilot は学校内でいつ、誰が、どの情報を使って、何をしたかを覚えているので、学校内で分断されていた情報を瞬時に紡いで、より質の高い教育活動を可能にしてくれます。もちろん、Copilot は授業実践にも役立ちます。校務の面でも、学習活動の面でも、学校全体でレベルアップにつなげていけるのが Copilot for Microsoft 365 の特徴です。



Copilot (職場向け)

学校内に隠れた情報を収集

授業に向けて、指導案を作成していきましょう。まずは、学校内で他の先生が作られた、これまで実践された指導案がないかを探してみましょう。Teams 上に置かれた Copilot から、該当単元の内容や学習目標を伝えて、参考にできそうなドキュメントを追いかけます。校内に隠れた素敵な教材にもたどりつけるかもしれません。



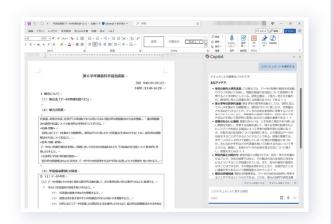




Copilot in Word

収集した情報を元にして 指導案の作成

集めてきた学校内のドキュメントを参考して、指導案を作成していきます。それが Word、PowerPoint の形式であれば、Copilot に要約を指示することで、教材の要点を抽出することができます。その要点と学習目標、学習スケジュールを Word の Copilot に伝えて、ドラフトを作成して、と指示することで、指導案のたたきを作成することができます。

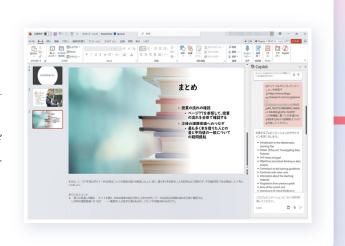






Copilot in PowerPoint 指導案を元にして授業で 使うスライドを作成

スライドを提示しながら展開していく授業も多いのではないでしょうか。 作成した指導案を PowerPoint から呼び出して、授業で使うスライド の大まかな土台を作成することができます。必要な画像も Copilot に作成してもらいましょう。





Copilot in Forms

指導案を元にして小テストの作成

学習目標の達成度を把握するために小テストを作成することは多いのではないでしょうか。一つ一つ、質問項目を入力するのは結構手間がかかります。Word で作成した指導案を Forms の Copilot から伝えることで、小テストとして生徒に問うべき項目の案を簡単に作成してくれます。



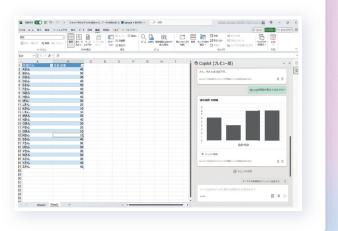




Copilot in Excel

集計された小テストの解答を 元にして簡単に集約する

小テストの解答は Forms から Excel に自動的に集約されます。この 集約された解答結果をさまざまな観点からグラフ化して、教科会や 学年会で共有したいですが、あれこれ試していくと時間がかかります。 Copilot に見たい観点を指示することで、Excel 操作の手間を省いて、 いろいろな角度から生徒の様子を追いかけることができます。





Copilot in Whiteboard

学習活動も促進する Copilot

Copilot は学習活動にも役に立ちます。Microsoft Whiteboard に付随した Copilot を使えば、学習単元の情報を伝えるだけで、グループワークで議論すべきトピックの案を瞬時に作成してくれます。また、その後のまとめの活動でも、同じカテゴリの付箋を Copilot が一瞬でグルーピング。授業実践の目的を達成するための、柔軟な授業展開が可能になります。



Copilot for Microsoft 365 は何ができる?



Microsoft 365 のクラウド上にある 情報を元に回答してくれる

ブラウザから呼び出せる Copilot (旧 Bing Chat) が、Web 上の 情報を参照できるのに対して、Copilot for Microsoft 365 は Onedrive や Sharepoint などのクラウド上に保管した情報を元に 回答を作ることができます。また、誰がいつ何をしたかを知っている ので、自分が前に作ったドキュメントや組織内で共有されたドキュ メントを元にして、情報を検索したり、情報をまとめたりすることが可能 です。学校の知見をより効果的に紡いでいくことができます。







Office を操るのに特化した プロンプトを簡単に利用できる

Office を使ってドキュメントを作成するために必要なプロンプトが Copilot Lab にあらかじめそろっています。Office 操作のために作 られたプロンプトを選択していく形で簡単にドキュメントを操作するこ とができます。生成 AI の操作に慣れていない人でも、安心して使い 始めることができます。



編集・執筆担当者: マイクロソフト文教 AIチーム







青木 智寶



西村 まりな



廣瀬 望



中田 寿穂



服部 友貴



阪口 福太郎



山越 梨沙子



急 日民

本リーフレットついてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時(2024年5月)のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。 本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ https://www.microsoft.com/ja-jp/

■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。 *記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

*製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

